



YouTube

磐田市公式チャンネル「磐田 TV」



まちの話題

8月26日 いわた夏まつり花火大会 約3,500発の花火が夜空を彩る

「かがやけ！磐田の夢」をテーマに、今年も遠州地方最後の花火として「2017 いわた夏まつり花火大会」が開催され、夜空を彩る大輪の花が多くの人を魅了しました。

今年は約3,500発の花火が打ち上げられ、長野県駒ヶ根市との友好都市提携50周年を記念して、同時刻（19時30分）にそれぞれの会場で記念花火が打ち上げられました。また、ポッカサッポロフード&ビバレッジ㈱から寄贈された磐田市イメージキャラクター「しっぺい」と駒ヶ根市PRキャラクター「こまかっぴ」がデザインされた団扇が来場者に配布され、両市の友好ムードを盛り上げました。

会場では今年も恒例の「ゆかたペアコンテスト」が開催され、^{さしき} 棧敷席に招待された先着20組のペアやカップルが間近で打ち上げられる花火に歓声を上げていました。

翌日の早朝には、市内中学校の生徒や市民ボランティアらによって、会場周辺の清掃が行われました。



▲大輪の花が福田の夜空を彩りました

8月23日 NHK全国学校音楽コンクール静岡県コンクール金賞受賞 城山中合唱部が歌声を披露



▲城山中合唱部が美しい歌声を響かせました

8月3日(木)に行われた「NHK全国学校音楽コンクール静岡県コンクール」で、「金賞」を受賞した城山中学校合唱部の生徒が、報告のため市役所を訪れました。渡部市長への報告後、市役所1階ロビーでは、駆け付けた保護者や居合わせた来庁者らに美しい歌声が披露されました。

同部は、9月3日(日)に愛知県で開かれた「東海北陸ブロックコンクール」では、奨励賞を受賞しました。

8月19日 親子消防体験教室 消防士さんってかっこいい



▲ホースを使ってポンプ車からの放水に挑戦

磐田市消防署では、消防の仕事や防火意識について楽しみながら理解を深めてもらおうと、親子消防体験教室を開催し、親子連れ28組87人が参加しました。子どもたちは複数のグループに分かれて、放水やロープ渡りなどさまざまな体験を行いました。

母親らと一緒に参加した日比一希さん（東部小4年）は「体験で消防隊員さんの頑張り（いつき）が分かりました」と話しました。

「まちの話題」はホームページや動画でも公開しています。右記2次元バーコードよりご覧ください。



磐田市公式 Facebook
「iwata fun club」



8月16日 こども参観日 患者さんの笑顔のために

市立総合病院で職員の家族を対象に「こども参観日」が初開催され、同院で働く看護師の子どもと夫17組29人が手術室



や病棟を訪問して母親や妻の働く姿を見学しました。

病棟で働く看護師の夫、堀一義さんが「緊張感を持って働いていることがわかりました」と話す、息子の一隆さんは「お母さんは人のために頑張っていたので、これからも応援します」と話しました。

8月4日 旧見付学校「昔の授業体験」 気分は明治時代の小学生

旧見付学校で小学生を対象に「昔の授業体験」が行われました。

23人が参加したこの日は、昔ながらの紺の着物に着替えた参加者が、教科書を読んだり石盤・石筆を使って昔の字を書いたりしたほか、屋外で竹とんぼや羽子板、こま回しなど昔の遊びを体験しました。吉岡規介さん（豊田南小6年）は「石盤・石筆は堅くて文字を書くのが大変でした」と話しました。



8月23日 第46回全国消防救助技術大会水上の部 溺者救助の種目で全国制覇達成

宮城県で開催された第46回全国消防救助技術大会水上の部の溺者救助の種目に磐田市消防署特別救助隊の3人が出場し、第1位入賞を達成しました。



同大会は市民の安全・安心を守る消防救助隊員が、互いの技術を競い合うものです。隊員らは、日々の訓練を通じて救助活動に必要な体力、精神力、技術力を養い、救助技術の向上を目指しています。

8月22日～27日 第52回全日本サーフィン選手権大会 トップレベルの選手が技を競う

全日本サーフィン選手権大会は、アマチュアサーファーの全日本チャンピオンを決する日本最大級の大会で、約半世紀以上



にわたって開催されてきた伝統と権威のある大会です。

日本サーフィン連盟（NSA）の正会員約11,000人が参加する支部予選大会で選抜された約1,000人が、真夏の太陽が照りつける豊浜海岸を会場に熱戦を繰り広げました。

8月5日 下水道たんけん2017 知ってる？下水道のしくみ

下水道をもっと知ってもらおうと「下水道たんけん2017」が磐南浄化センターで行われ、親子16組51人が参加しました。



参加者はクイズなどで下水道への理解を深めた後、普段は立ち入ることができない地下の管廊を探検し、微生物の観察やゲームを行いました。小松優作さん（富士見小6年）は「パイプの色分けが工夫されていると感じました」と見学の感想を話しました。

8月15日 磐田市平和祈念式 「平和」を考える機会に

市の戦没者・戦災死者を追悼し、平和を希求する想いを次世代に継承していくため、市民文化会館で磐田市平和祈念式が開催され、遺族や小中学生約700人が参加しました。



磐田市遺族会の伊藤行昌会長が「この平和が末永く続くことを願っています」と追悼の言葉を述べたほか、広島平和記念式典に派遣された小中学生代表による発表などで平和への想いを再確認しました。